



通信

HP 学校だより
R5.11.22
NO.29
文責 伊藤美佳



学びの場を広げる

学芸会が終わり通常の学校生活に戻る…とはならず、子どもたちの学びの場は、校外に広がりつつあります。

1、2年生が遠足で幸田文化公園に行きました。縦割り班で行動することで、2年生が1年生をリードしたり、異学年で協力して遊んだりすることを学ぶためです。途中、「わがままばかり言ってる」とか、「言うことをきいてくれない」などといった言葉も聞かれましたが、最後は班で楽しく過ごせたようです。「折り合いをつける」を学ぶことができた大切な時間となった班もありました。

5年生は、社会科見学として学内の鈴木化学工業所へ見学に行きました。主に車のプラスチック部品を製造されていますが、急須やキャラクターのフィギュアづくりなど、プラスチックの可能性を考慮した製品の開発もしています。今後、組み立て工場の見学にも行きます。見せていただいた部品が、組み立て工場を経て製品となる一連の流れを実際に見られることは、子どもたちにとって大きな驚きと感動を与えてくれることでしょう。「百聞は一見に如かず」実物を見て学ぶことを大切にしたいです。

4年生は、国語の授業で学び、学芸会で演じた「ごんぎつね」の集大成に新見南吉記念館に出かけます。国語の授業で読み取った登場人物の気持ちを、学芸会で表現し、最後に記念館で作者の思いに触れてきます。「ごん」や「兵十」への思いが深まり、新見南吉の他の作品にも興味をもってくれるとうれしいです。

3年生は、社会科「くらしを守る」の学習で、消防団体験教室を実施しました。消防団員、消防本部員の皆さんが豊坂小学校に来て、実際の機材や車両を使っての体験をさせてくださいました。放水体験、ホースボーリング、水消火器取り扱いをさせてもらい、自分たちのくらしを守ってくれている人々の思いにも触れることができると確信しています。消防団についての理解が深まり、「将来、自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る！」という気持ちをもってくれることを期待したいです。

6年生は、理科の学習で3回の外部講師をお願いしています。1回目は必要のない二酸化炭素を吸収し、必要な場で放出できるという発明を実際に体験させてもらいました。今回は、「私たちの住んでいる町の地形と地層」について学びました。地層のでき方を学習した後で、地震で液状化現象が起きたり、マンホールが浮き上がったりの仕組みを実験することで、防災の学習にもつながることが期待できそうです。

学びの場を広げ、多くの人々とかかわることは、子どもたちにとって貴重な経験となります。学ぶ楽しさを味わってほしいです。



鈴木化学工業所作製の創立150周年記念フィギュア勢ぞろい